

農作物病害虫発生現況情報（5月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、平年並の3月第6半旬から認められ、誘殺数は平年より少なく推移している（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、平年よりも早い3月第6半旬から認められ、誘殺数は平年並に推移している（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は5月第1半旬から認められ、誘殺数は平年よりも多く推移している（図3）。
- (4) 5月の巡回調査では、産卵圃場は確認されなかった（平年24.3%、図4）。

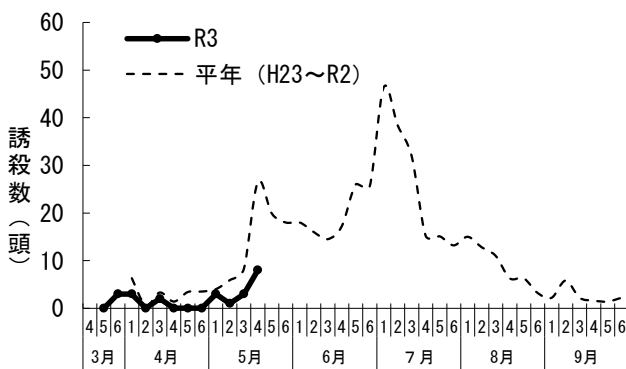


図1 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップの誘殺状況

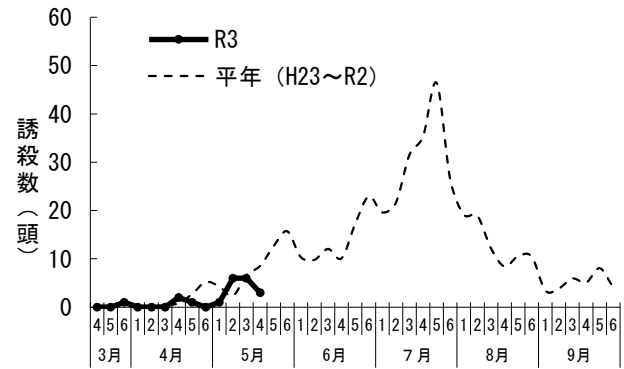


図2 軽米町におけるフェロモントラップの誘殺状況

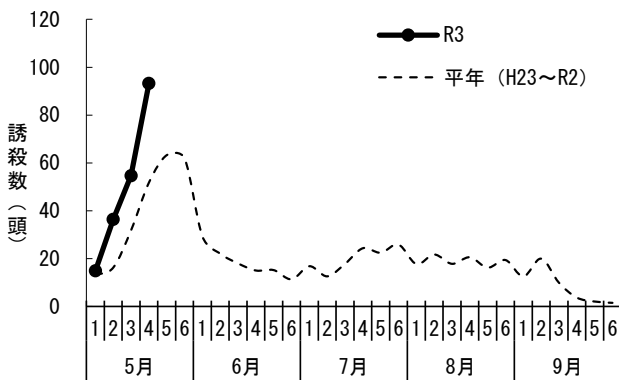


図3 岩手町におけるフェロモントラップの誘殺状況

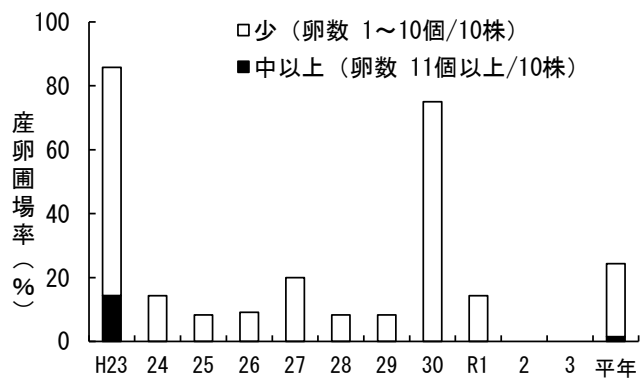


図4 コナガの産卵圃場率の年次推移（5月中旬）

2 モンシロチョウ

(1) 5月の巡回調査では、産卵圃場率は8.3%（平年63.2%）であり、平年より低かった（図5）。

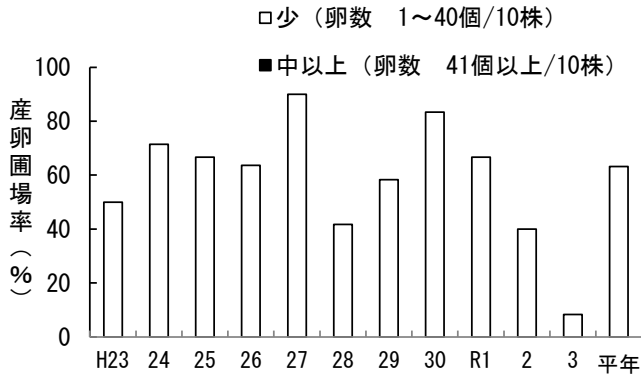


図5 モンシロチョウの産卵圃場率の年次推移
(5月中旬)

3 ヨトウガ

(1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第4半旬に確認された（図6）。

(2) 基準圃場における産卵は、5月第5半旬までに確認されていない（平年5月第6半旬）。

(3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第1半旬から確認された（図7）。

(4) 5月の巡回調査では、産卵は例年通り確認されなかった。

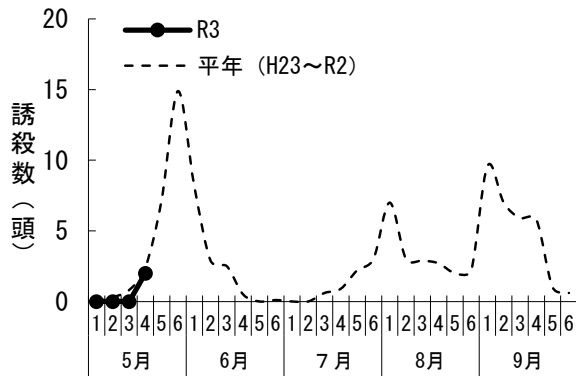


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガのフェロモントラップの誘殺状況

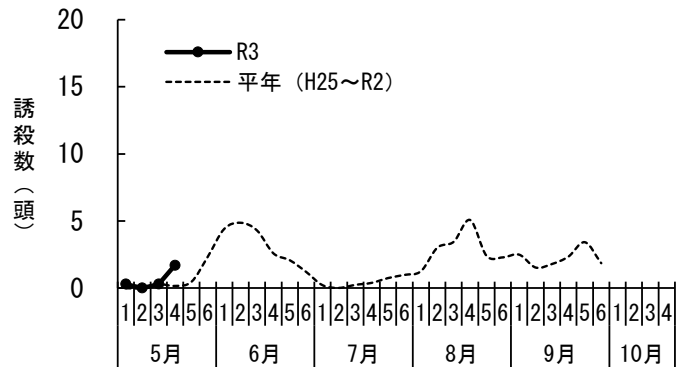


図7 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップの誘殺状況

4 タマナギンウワバ

- (1) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第3半旬から確認され、誘殺数は平年よりも少なく推移している（図8）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、4月第3半旬から確認され、誘殺数は平年並に推移している（図9）。
- (3) 5月の巡回調査では、産卵圃場率は16.7%（平年37.9%）であり、平年より低かった（図10）。

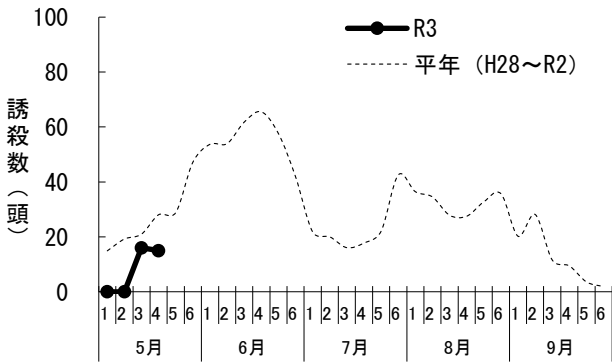


図8 岩手町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップの誘殺状況

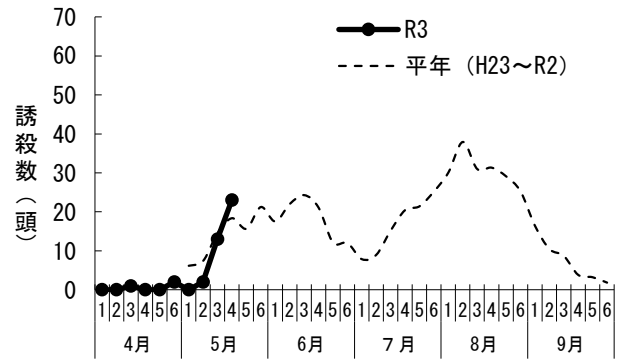


図9 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップの誘殺状況

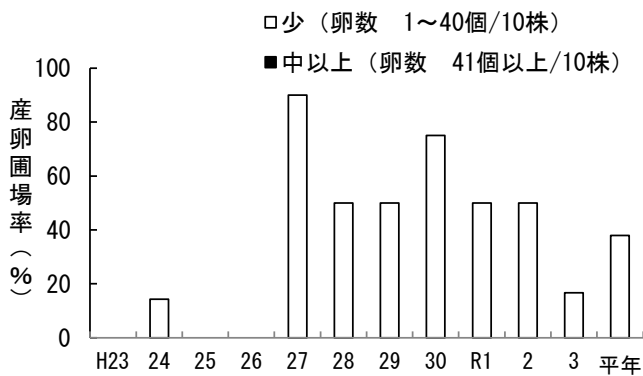


図10 タマナギンウワバの産卵圃場率の年次推移 (5月中旬)